

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
		年	月	日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1		・利用児の特性や支援内容に応じて見極めが必要。 ・こどもの状態、人数に対して少ないと感じることがある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		・視覚化されているものが多く分かりやすい。	・利用児に合わせ都度見直しているが引き続き検討していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・静養室を使えるようになっている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1	・子どもの姿会議で子どもの様子、それに対しての取り組み、評価の流れができています。	・どの枠も利用児童がいるため全員で参加できることが難しい。 →会議の日を設け、情報共有を図ります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・毎年実施している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	3		・なかま会議を定期的に実施できていない。会議を開催しても利用児童がいるため全員で参加する事が難しい。 ・全員で話す機会が中々取れていないように感じる。 →会議の日を設け、情報共有を図ります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4		・1年半経過しているがまだ実施できていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	2		・救命講習はできているがその他については法人内での研修はできていない。 →支援につながるような研修を職員全員でできるように計画していきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	3	・3月に作成し公表しました。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	1	・定期的に面談をおこなう他、実際に支援に関わり問題を把握することができている。	・支援に関わることが限られている。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・子どもの姿会議を参考にしながら作成している。 ・子どもの姿会議を通して職員全体で子どもの支援について情報を共有している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	4		・まだ確立できていない。 →次年度より、HUGの活動記録とは別に日々の行動観察を記録していきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	3		・今後チームでの支援が出来るよう回り、更にそれぞれのニーズに応えられる支援が出来るとう良い。

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	2		・自由遊びが主のため、同じ活動になってしまっていることが多いように感じる。 →来年度から新たに30分程度の活動プログラムを計画します。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	2	3		・児童の活動に合わせての支援になるので、難しい場面がある。 →日々の情報共有や会議を通して支援につなげていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	2		・支援内容、役割分担までは確認できておらず、チームで連携するまでは至っていない。 ・打ち合わせをしているが、役割分担等の確認は行っていない。 →全員での支援をしています、その日の状況に合わせて役割分担等確認していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	4	・打ち合わせの時間ではないが、気づいた点は共有している。	・終礼がない為、日々の振り返り等共有ができず、支援の改善策が不十分なまま過ぎていると思われる。 ・当日の振り返りを毎日行う。 ・終礼などの時間は設けられていない。 ・支援終了後必ずできるとは限らないので時間をおいても必ず行うようにする。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	1	・HUGを活用して記録をとっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	1		・児発管が参加しているが、現場に入っていない、送迎等にも出ないなど、子どもの状況を把握しきれていないので、もっと参画するべき。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	・保育園と連携会議を行っている。	・同じ児発の施設などとの連携をもっと増やしていきたい。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		・保育園と連携会議を行っている。	・インクルージョン推進の観点から、移行に向けた支援等を強化していくことが今後より良いその後の生きやすさの為の手助けが出来るのでは？と思われる。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	4		・今後小学校等にも情報共有を図る必要があると思う。 →次年度小学校への保育所等訪問支援が始まるので、情報共有を図っていきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答)			対象外	
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			対象外	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			対象外	
	31	(31は、事業所のみ回答)		5		
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5		・定期的にイベントを実施している。 ・年1回保育園との交流の機会を作っている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	2		・保育園への送迎が主で定期的に面談ができていない。保護者とは共通理解までは至っていない。 ・直接保護者の方と会う機会が少ないので、HUGでの情報共有が主になっている。細かい所までの共通理解までは至っていないように感じる。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・契約時に必ず伝えている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		・契約時等に聞き取り票などで確認している。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		・書面にて同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・月に1回面談の機会を作っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4		・今後検討していく。 →来年度土曜日にご家族参加のイベント等を計画したいと思います。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		・通信を月1回発行、HUG内でも発信している。 ・Artist便りを配信したり、SNSを活用して活動を配信したりしている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・絵カードなどを用いている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1	・誰でもCome on☆アートしよう！を開催。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			・職員間での周知はしているが、訓練を増やしていきたい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			・利用児と行う訓練の回数を増やしていきたい。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	・食事提供なし。 ・食物アレルギーについては把握しているが、提供はしていない。	・緊急時に簡易的な食事を提供する場面が発生する可能性もあるので、医師の指示書などの確認を徹底することが大切。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		・伝言ダイヤルを活用している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5			・明確なのかよくわからない。